

「ルベーク積分講義」(初版第2刷) 正誤表

下記の誤りをお詫びして訂正いたします。

最終更新日 2004年4月5日

場所	訂正前	訂正後	訂正日
p.23, ↑1	脚注に次の文を追加: $\bigcup_{j=1}^{\infty} Q_j$ はいずれかの $Q_j$ に属する点全体のなす集合 (問題 3.2 参照).		04/04/02
p.29, ↓4	可測集合	可測集合あるいはルベーク可測	04/04/02
p.31, ↓6	$c$	$c_n$	04/04/02
p.63, ↓1	系 2.11'	系 3.9'	04/04/02
p.157, ↓7	開集合	$G_\delta$ 集合	04/04/02
p.193, ↓3	小さく	近く	04/04/05
p.208, ↓6	$x \in \mathbf{R}^2$	$x \in A$	04/04/05
p.212, ↑5	$\frac{\pi}{4}$	$\pi$	04/04/05
p.213, ↓8	直径	半径	04/04/05
p.213, ↓9	$d(B_i)^2$	$4^{-1}d(B_i)^2$	04/04/05
p.213, ↑8	$m_2^*(B_i)m_2(B_i) = (\pi/4)d(B_i)^2$	$m_2^*(B_i) = m_2(B_i) = \pi d(B_i)^2$	04/04/05
p.213, ↑6~↑3	$\frac{4}{\pi}$	$\frac{1}{\pi}$	04/04/05
p.217, ↑1, p.218, ↓1	測度	外測度	04/04/05
p.225, ↓7	すると,	します。	04/04/05
p.225, ↓11	$d(U_i)$	$d(U'_i)$	04/04/05
p.226, ↑1, ↑2	二つ目の $a_2$ を $a_3$ に		04/04/05
p.237, ↓3	半径	直径	04/04/05
p.237, ↑8	$\mu_{l_j}(K)$	$\mu_{\max\{l_1, \dots, l_N\}}(K)$	04/04/02
p.238, ↑4	$\geq$	$>$	04/04/02

有益なご注意, ご指摘をいただきました黒田成俊先生, 佐藤圓治先生に感謝いたします。